

全鉄連流通動態調査結果表 平成30年12月分

(31. 1. 21)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		11月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	7,493	92.6%	45,878	87.0%	46,205	86.7%	7,166	95.6%	
	大阪	3,282	98.6%	17,544	97.0%	17,504	96.5%	3,322	101.2%	
	愛知	5,340	100.5%	7,418	89.7%	7,486	90.8%	5,272	98.7%	
	計	16,115	96.3%	70,840	89.6%	71,195	89.3%	15,760	97.8%	
形鋼	山形鋼	東京	16,945	96.1%	10,587	103.0%	9,559	87.1%	17,973	106.1%
		大阪	18,785	103.7%	9,926	87.7%	9,503	89.3%	19,208	102.3%
		愛知	13,745	94.3%	7,815	106.5%	7,276	89.1%	14,284	103.9%
		計	49,475	98.3%	28,328	97.9%	26,338	88.4%	51,465	104.0%
	溝形鋼	東京	14,842	101.5%	5,536	77.5%	5,888	85.1%	14,490	97.6%
		大阪	11,613	103.1%	6,269	86.4%	5,994	86.9%	11,888	102.4%
		愛知	8,996	101.6%	5,885	92.1%	5,831	93.3%	9,050	100.6%
		計	35,451	102.1%	17,690	85.1%	17,713	88.3%	35,428	99.9%
	H形鋼	東京	31,653	96.6%	15,477	75.8%	16,527	76.8%	30,603	96.7%
		大阪	36,612	99.7%	28,272	90.3%	26,294	83.7%	38,590	105.4%
		愛知	21,378	103.6%	13,756	85.6%	14,427	94.2%	20,707	96.9%
		計	89,643	99.5%	57,505	84.8%	57,248	83.9%	89,900	100.3%
合 計		174,569	99.7%	103,523	88.1%	101,299	85.8%	176,793	101.3%	
コ ラ ム	東京	7,700	97.4%	4,367	114.6%	3,664	91.3%	8,403	109.1%	
	大阪	8,695	101.8%	6,918	112.4%	6,461	107.7%	9,152	105.3%	
	愛知	2,982	95.2%	2,099	75.5%	2,079	70.9%	3,002	100.7%	
	計	19,377	99.0%	13,384	105.0%	12,204	94.3%	20,557	106.1%	
軽量C形鋼	東京	3,833	123.0%	2,580	81.6%	2,736	111.9%	3,677	95.9%	
	大阪	2,772	93.9%	2,056	97.6%	1,939	84.8%	2,889	104.2%	
	愛知	3,241	101.3%	1,638	82.5%	1,779	91.5%	3,100	95.6%	
	計	9,846	106.2%	6,274	86.5%	6,454	96.7%	9,666	98.2%	
総 計		219,907	99.6%	194,021	89.6%	191,152	87.9%	222,776	101.3%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知16 合計66社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。